

03 商社事業

先進ITの活用により、
グローバル戦略を推進し、
「新たな価値の創造」に挑戦

執行役員 新井 信



商社の役割は流通への貢献です。メーカーとユーザー
に対して的確できめ細かな情報伝達を迅速かつ、精確に
行うことが商社の使命です。また経営判断はより迅速、か
つ最適化がますます必要となっています。したがって当社
でのIT化のレベルアップは必然であり、ITは経営の根幹
の一つであると考えています。

我々は、業務の流れ=ITの流れと捉え、右記を念頭に
JFE商事単体およびグループ会社、全社員参加の下、IT化
のレベルアップを目指しています。

業務の流れ=ITの流れ

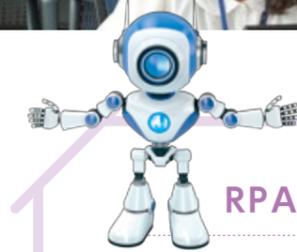
- ・システム構築の目的を明確にし、関係者に周知を図る
- ・作業、設備について適切な知識を持つ
- ・システムの機能(何ができるか)を理解する
- ・システムは業務に存在しうる外乱を是認しそれに耐えるものにする
- ・システムは作業を定常、非定常に区分した業務フローに基づいて設計されること

JFE商事 ビジョン
トレードと事業の両輪による安定収益基盤の確立と収益拡大

営業戦略業務へのシフト 現場力の強化 グループシナジーの発揮

JFE商事ITビジョン 成長を支える先進ITのテーマ

オフィスの生産性向上 ・RPAやAI活用による業務の自動化と高度化 (営業戦略に直結する業務にシフト)	コイルセンターの生産性向上 ・IoT技術でセンサデータの集約 (操業実態の見える化による諸改善)	
IT関連のグループシナジー発揮 ・JFEホールディングス、JFEスチールとの連携強化 (SCM、セキュリティ基盤共用、共同調達等)	連結経営の効率化 ・標準システムの適用拡大・刷新 ・国内外コミュニケーション環境の充実	
先進ITを支える基盤		
情報セキュリティ強化	システムの安定稼働	IT人材の確保・育成



RPA推進活動の全社展開

国内における生産年齢人口の減少が続く中、当グループ
においてもこれに対応することは喫緊のテーマと捉えていま
す。すなわち、業務のさらなる効率化が必要と考え、その一
の手段としてRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)
の導入を1年ほど前から検討してきました。

RPAで業務を自動化すること自体、効率化が図れますが、
同時にRPA化の検討の際には本当にやるべき業務を見極め
る上で非常に良いきっかけにもなります。したがって、当社
が継続して活動している業務改革推進活動(通称J-SLIM活動)
と連携させ、3年計画で全部門に展開すべく、活動を開始して
います。RPA導入による業務の効率化を図ることで、より高度
で戦略的な業務への転換を目指します。

また、グループ会社へもここでの知見を広め、随時、展開し
ていきます。



上: RPA推進チーム
下: 会議風景



JFE Voice!

働き方改革にも一役買っています!!

RPA化を展開している中、業務効率化の目的は十分に発揮されていますが、お客様への情報提供
の頻度やスピードも向上し、顧客満足度の向上も期待できます。
また、時間に縛られていた業務など「特定の日は休めない」、「ミスができない」という精神的なプレッシャーから解放されたという現場からの声も聞かれ、働き方改革につながっています。



左: IT企画部 部長 石川 秀昭 中: IT企画部 IT戦略企画室 課長 加茂部 智子 右: IT企画部 IT戦略企画室 課長 杉本 大輔